

令和8年度 苫小牧市DX推進リーダー研修業務委託に関する公募型プロポーザルに係る質問・回答一覧

質問者	質問事項	質問内容	回答
A社	集合研修について	集合研修の研修時間ですが、1日あたりの最大研修時間、研修開始時間、研修終了時間は決まっていますか？弊社の他自治体での研修では、1日あたりの最大研修時間は6時間、9:00開始、17:00終了するようにしています。	原則として、本市の勤務時間内（8:45～17:15）での実施を想定しています。なお、正午から12:45までは休憩時間となります。
	集合研修について	集合研修の際、参加者は、インターネットに接続可能なPCを持ち込むことは可能でしょうか？	受講者には、1人1台ずつインターネット接続可能なPCを事務局側（市側）で準備する予定です。
	伴走支援について	苫小牧市様で用意されるチャットツールは、logoチャットでしょうか？logoチャットには、インターネットからアクセス可能の前提でよかったでしょうか？	トラストバンク社の「LoGoチャット」を使用します。インターネット経由でのアクセスが可能です。
B社	資料名：仕様書2 「しなやかな組織文化」の評価指標について	仕様書 P1 2 本業務の目的である「しなやかな組織文化」の醸成について、市として現状どのような課題感（例：失敗を恐れる、前例踏襲など）を最も強く感じておられますか。	DXが職員一人ひとりの「自分事」として捉えられていないことが最大の課題です。ツールを導入しても一部の利用に留まり、全庁的な活用や業務改善に繋がっていない現状を打破したいと考えています。
	資料名：仕様書2 研修カリキュラムについて	仕様書 P1 2に令和7年度事業について言及されていますが、概要（目的・内容・対象者・人数・研修回数・1回当たり時間・総時間数等）を可能な範囲でご教示ください。	令和7年度の実施実績は以下のとおりです。目的や対象者は今年度と概ね同様です。 ・集合研修：2回（計10時間） ・伴走支援：3回 ・企画発表会：1回（2時間） <仕様外の追加提案内容> ・受講者上長向けマインドセット研修：1回（2時間）

令和8年度 苫小牧市DX推進リーダー研修業務委託に関する公募型プロポーザルに係る質問・回答一覧

質問者	質問事項	質問内容	回答
B社	資料名：仕様書 3 デジタルツールについて	仕様書 P1 3(1) に記載の「生成AI、オンライン申請、AI-OCR、RPA等を明示的に組込」とありますが、利用可能なツールをご教示いただけますでしょうか。また、必須ツール種別（具体製品名）や優先順位はありますでしょうか。	仕様書に例示したツール（生成AI、オンライン申請、AI-OCR、RPA）はすべて利用可能です。 必須ツールや優先順位は設定しておりませんので、各提案内容に基づきツールを選択してください。
	資料名：仕様書 3 デジタルツールについて	仕様書 P1 3(1) 集合研修において、受講者がPC・インターネット環境を利用することは可能でしょうか。	受講者には、1人1台ずつインターネット接続可能なPCを事務局側（市側）で準備する予定です。
	資料名：仕様書 3 試作・検証について	仕様書 P1 3(1) に記載の「試作・検証」について、どのようなレベルまでを含めれば充足する認識でしょうか。	「充足」の定義については、各事業者の実績やノウハウに応じて様々あると思います。具体的な到達レベルについては提案者側の裁量にお任せします。
	資料名：仕様書 3 対象となる業務の選定について	仕様書 P1 3(2)に記載の集合研修・伴走支援について、研修で扱うBPRの題材は、受講者が各自の部署から持ち込む実業務を想定されていますか。あるいは、事務局側で共通のケーススタディを用意する想定ですか。	提案者の実績ノウハウを基に、研修効果を高める題材設定の方法から提案していただくことを想定しています。 現時点では事務局側が共通のケーススタディを用意する予定はありません。
	資料名：仕様書 3 集合研修について	仕様書 P1 3(2)に記載の集合研修・伴走支援について、研修の想定回数／1回あたり時間／総時間数はありますでしょうか。	研修の想定回数や時間の明示は行いません。各事業者において、BPRマインド、スキル習得に十分と思われる回数や時間を御提案ください。
	資料名：仕様書 3 メンターについて	仕様書 P1 3(2)に記載の「メンター育成に資する設計」とありますが、メンター像（誰が誰をメンタリングするのか：受講者が庁内で/受託者が受講者へ等）の想定を共有いただけますでしょうか。	本業務で育成を目指すのは、市民サービスの向上、業務改革、働き方改革を、各部署の職員と共に推進し、全庁的なDXをけん引する人材です。この役割を担える人材をメンター像と想定しています。

令和8年度 苫小牧市DX推進リーダー研修業務委託に関する公募型プロポーザルに係る質問・回答一覧

質問者	質問事項	質問内容	回答
B社	資料名：仕様書 3 デジタルツールの利用環境・制約について	仕様書 P1 3(3) に記載の「利用環境・制約などの前提条件を確認」について、市のネットワーク制約（クラウド接続、外部アカウント作成可否等）を事前に市から提示いただく認識でよろしいでしょうか。	契約締結後、業務遂行に必要な範囲において、本市のネットワーク環境や制約に関する詳細情報を開示します。
	資料名：仕様書 3 市が用意するチャットについて	仕様書 P1 3(4) に記載の「市が用意するチャット」について、製品名を共有いただけますでしょうか。	トラストバンク社の「LoGoチャット」を使用します。インターネット経由でのアクセスが可能です。
	資料名：仕様書 3 令和9年度以降の展開の具体性について	仕様書 P2 3(6)「中長期の人材育成案」の提案にあたり、市が現在お持ちの「全体的なDX推進計画」や「人材育成基本方針」との整合性を図るため、関連資料を共有いただくことは可能でしょうか。	全体的なDX推進計画は、行革とICT推進の個別プランを統合し、以下リンク掲載の計画に位置づけています。 https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/shisei/shisei/gyoseikaikaku/gyoseikaikaku/gyoseikaikaku.html 人材育成基本方針は、この3月に改定を行い、17日以降に以下リンクにて公表します。 https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/shisei/shisei/shokuinninyo/jinji/jinzaiikusei.html
	資料名：提案書作成要領 提案書様式について	提案書作成要領 P1 3 提出書類について、提案書様式はスライド形式（Powerpoint等）、横向きで良いでしょうか。	様式の形式や向き（縦・横）は問いません。ただし、データ提出する際は必ずPDFフォーマットに変換してください。
	資料名：提案書作成要領 提案書のページ数について	「企画提案書はA 4 サイズ 3 0 ページ以内」とあるが、30ページに提案書表紙、目次、中表紙、裏表紙などは含まれない認識でよろしいでしょうか。	表紙、目次、中表紙、裏表紙については、本文の内容（提案内容の詳述）が含まれないものにとり、制限ページ数には含めないものとします。

令和8年度 苫小牧市DX推進リーダー研修業務委託に関する公募型プロポーザルに係る質問・回答一覧

質問者	質問事項	質問内容	回答
B社	資料名：ヒアリング 実施要領及び評価基準 ヒアリングについて	ヒアリング実施要領及び評価基準 P1 (2)ヒアリング審査の実施について、提案者がWeb会議で参加することは可能でしょうか。	Web会議での参加も可能ですが、円滑な審査のため、説明者・機材セッティングの方（少なくとも1名）は現地会場にて参加いただくようお願いします。